

総合整備計画書

福井県あわら市吉崎^{よしざき}辺地
(辺地の人口191人 面積0.6km²)

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称
吉崎
- (2) 地域の中心の位置
吉崎一丁目807
- (3) 辺地度点数
174点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当地域は、あわら市の北部に位置し、市街地から約10km離れている。

この地は、浄土真宗中興の祖・蓮如が、1471年から4年間で一大宗教都市を作り上げた特色ある歴史を有する地であり、現在は「吉崎御坊跡」としてその名残をとどめている。また、「蓮如の里」とよばれ、かつては全国から多くの参拝者が訪れる地でもあった。

吉崎地区の人口は191人、世帯数は92世帯(令和4年4月1日時点)となっており、10年前と比較して人口で78人、世帯数で14世帯減少している。また、高齢化率は40%を超え、市内でも人口減少・少子高齢化が著しく進み、空家数も多い。観光客は、年間5万人程度であり、全盛期といわれる1970年の10分の1に満たない状況となっている。

あわら市は、福井県の北の玄関口として石川県加賀市と接し、北陸自動車道や国道8号、国道305号などの幹線道路を利用して多くの車両が県境を往来している。このうち国道305号は、越前海岸からあわら温泉、北潟湖を経て金沢市へ至る一般国道であり、沿線には東尋坊などの景勝地も多く、観光道路としての側面も有している。

このため、この吉崎に、あわら市北部の地域資源やポテンシャルを最大限活かし、地域活性化の拠点として、休憩・情報交換、地域連携の機能をもった、地域とともにつくる個性あるにぎわいの場として、あわら市初となる道の駅を整備することは重要である。

さらに、平成28年4月1日に休校となった吉崎小学校の利活用をはじめ、吉崎汀公園や吉崎御坊跡といった周辺施設の整備を行うことで、集客や観光交流人口のさらなる増加が図られるとともに、にぎわいの創出や地域振興における相乗効果が期待できる。

また、安全で安心な水道水供給のため、施設内外ともに劣化が激しく、最新の耐震性能基準を十分に満たしていない吉崎配水場や老朽管の更新を早急に進める必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和4年度から令和5年度までの2年間

(単位:千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業 債の予定額
			特定財源	一般財源	
道の駅「蓮如の里あわら」	あわら市	514,346	282,288	232,058	232,000
吉崎配水場	あわら市	95,000	0	95,000	47,500
吉崎区配水管	あわら市	600	0	600	300
合計		609,946	282,288	327,658	279,800